

蠟山政道 （政治學者） 政治學者。明治二十八年一月二十一日群馬生れ、昭和五十五年五月十五日歿（二八五—一九〇）。筆名朗山正路、蠟山生、M・R、M・R生等。大正九年東京帝國大學法學部政治學科卒。昭和二年同大教授、八年創設の昭和研究会を中核的存在、十四年河合榮治郎筆禍事件に抗議辭任し、東京政治經濟研究所を主宰。十七年翼賛選挙に當選、二十年雜誌『中央公論』主幹、二十九年お茶の水女子大學學長、四十三年東京都教育委員会委員長。

著書 『勞農聯邦研究』（合著・社會思想社編、昭和二年十一月十日春秋社）『社會思想研究叢書』（）、『無産政黨論』（編著、昭和五年五月五日日本評論社）『現代政治學全集』（）、『婦人と政治』（昭和六年一月二十日社會教育協會「婦人講座」）、『學生思想問題』（河合榮治郎共著、昭和七年五月五日岩波書店）、『吉野作造氏追悼記念 政治及政治史研究』（共編、昭和十年十一月十日岩波書店）、『自由主義とは何か』（合著・東洋經濟新報社編、昭和十一年五月二十六日東洋經濟新報社）、『ヒューマンバムの政治思想』（昭和十二年四月一日岩波書店）『政治學叢書』（）、『世界の變局と日本の世界政策』（昭和十二年九月十日巖松堂書店）、『學生と西洋』（合著・河合榮治郎編、昭和十六年四月十五日日本評論社）、『日本の國體と民主主義』（昭和二十一年四月十日白雲書店）『白雲教育叢書』（）、『新憲法—政治的知性の訓練とこころ』（昭和二十二年一月五日千葉・千葉縣文化振興會「千葉



縣文化振興會叢書』（）、『討論—理論と實際』（合著・朝日新聞社編、昭和二十二年五月二十一日朝日新聞社）、『官吏制度の研究』（合著・鈴木安藏編、

昭和二十二年二月一日同友社）、『社會思想史十講』（合著・社會思想研究會編、昭和二十二年五月一日社會思想研究會出版部）、『人間・藝術・政治』（合著・小尾俊人編、昭和二十二年九月二十日みすず書房「ビューマニカム論」）、『新女性全書・生活篇』（合著・岡澤一夫編、昭和二十二年十一月十五日鎌倉文庫）、『^{日本}おける^{政治}政治意識の諸相』（昭和二十四年二月十日劉草書房「法學叢書」）、『マルクシズムと對決するものー批判と反批判』（合著・河野來吉編、昭和二十四年八月十五日労働文化社）、『「共產黨宣言」批判』（昭和二十四年十一月十五日明治書院）、『比較政治機構論』（昭和二十五年十月二十五日岩波書店「岩波全書」）、『わが師を語るー近代日本文化の側面』（合著・社會思想研究會編、昭和二十六年四月二十日社會思想研究會出版部）、『日本文化の見方』（合著、昭和二十六年九月二十日社會思想研究會出版部）、「現代教養文庫」）、『現代日本への考察』（合著・永田清編、昭和二十六年十一月十五日慶友社）、『政治學原理』（昭和二十七年十一月二十日岩波書店「岩波全書」）、『小野塚喜平次ー人と業績』（南原繁・矢部貞治共著、昭和二十八年十月二十日岩波書店）、『新日本のビジョン』（昭和四十年十一月二十日朝日新聞社）等。『蠟山政道著作目録』（西尾勝編、昭和五十八年五月十五日蠟山政道追想集刊行会）刊。

